

【第8回館山市総合計画審議会 委員意見への回答】

＜①パブリックコメントに対する回答について【協議】＞

事務局案のとおりで良い 20名 ・ 以下のとおり修正を希望する 2名
(未回答 3名)

提案委員	No.	基本目標	施策	意見	担当課	回答
鈴木ひとみ委員	5	5	自然環境の保全と景観形成の促進	提案者のご意見はもつとも。森林・里山の活用が森林の木の保全につながる。森林保全をどのような手段で行おうと考えているのか。保全と活用は切り離して考えられるものではない。有効活用の道を検討すると答えるべきだと思う。	農水産課	森林所有者による病虫害や自然災害による被害の拡大防止に関して支援を行い、森林の保全を推進していくとともに利用可能な森林の活用についても検討していきます。
鈴木ひとみ委員	7			提案者は議員の在り方を述べているのに、議員についての返答がないのはおかしい。議長に見解を述べてもらおうとよい。	企画課 (秘書広報課)	市と市議会は別の組織ですので、市から議員の役割について回答することはできません。パブリックコメントの回答に、「議員の役割についてのご質問は、市の議会事務局にお問い合わせください」という一文を追加します。
田中真由委員	7			「また、市長が昼休みに…」の回答について、以下の方向性への修正を希望します。 市長が昼休みに玄関ロビーにおいて直接市民の皆様の声を聴くことは、ニーズ把握に努め要望に応えるきめ細かい行政運営に向けた取り組みのひとつとして行っております。今回頂戴したご意見も踏まえ、今後もよりよい方法を常に模索しながら、皆様の声と向き合っていきたいと思っております。 理由：市長がロビーに立っている件は市民の間でかなり賛否があり、残念ながら当方のまわりでも否定意見が多いです（年配者には好評なのかもしれませんが…）。真っ向から反論ととれる回答を記載するよりも、「このパブコメも踏まえてよりよい方向を模索する」旨の回答のほうが市民の声と誠実に向き合っている印象になるので、修正を提案します。現状市長寄りの回答になっているのも避けたほうがよいです。企画課としての回答という意味でも、ぜひ中立な立場での回答をお願いしたいです。	企画課 (秘書広報課)	パブリックコメントの回答について、下記のとおり修正します。 また、市長が昼休みに玄関ロビーにおいて直接市民の皆様の声を聴くことは、市民のニーズ把握に努め要望に応える、きめ細かい行政運営に向けた取組の一つとして行っております。今回頂戴したご意見を踏まえ、引き続き、幅広く多様な意見を取り入れることができる広聴手法を検討してまいります。
鈴木ひとみ委員	9	5	資源循環型社会の構築	早急に専門家を招いて勉強をし、市が積極的に動くべき。グリーンリカバリーを推進する動きが大きくなっている時流を逃さないで欲しい。	環境課	先進事例のある自治体や、事業者などから知見を深め、館山市の状況に合った効果的な取組を検討していきたいと考えます。
鈴木ひとみ委員	10	3	商工業の振興	リノベーションスクールが実績に結び付いていないことをもっと反省すべき。企業誘致の方法も見直す必要があるのではないかと。	雇用商工課	リノベーションスクールの実績については、新型コロナの影響や物件オーナーとの調整等もあり、時間がかかっていますが、事業化に向けて着実に進んでいます。 企業誘致につきましては、誘致ターゲットを「従業員30～100名程度のソフト産業のベンチャー企業」として活動してきましたが、コワーキングスペースなどを活用した企業合宿の誘致やワーケーション体験イベントを実施することにより企業誘致活動を行います。
鈴木ひとみ委員	11	3	商工業の振興	返答はこれでよいが、ふるさと納税の返礼として、野菜ソムリエチョイスの野菜BOXとか、農業体験、定置網体験を考えてはどうか。	企画課	特色ある返礼品を扱うことは、寄附金獲得の面だけでなく、市のPRの面でも大変有効であると考えます。ご提案いただいたようなユニークな返礼品を扱うよう、今後も積極的に市内事業者に働きかけてまいります。

<②『後期基本計画』最終案について【協議】>

事務局案のとおりで良い 20名 ・ 以下のとおり修正を希望する 2名
(未回答 3名)

提案委員	ページ	計画事業名	意見	担当課	回答
鈴木ひとみ委員	98	地球温暖化対策事業	ここ数か月、地球温暖化防止、CO2削減に社会が大きく舵を切っている。様々な事業体がゼロカーボン、100%再生可能エネルギーの利用に価値を付けている。P98の地球温暖化防止対策事業は重点課題に繰り上げるべきと考える。	環境課	地球温暖化の防止とりわけCO2の削減が今日的課題として重要なものであることは十分認識していますが、環境に関する事業はどれも重要なものであり、全てが継続的な取組を求められる事業であると考えます。 この事業を5年間の重点事業とするのではなく、全体としての環境施策自体が常に優先度の高い課題であるとの認識で取り組んでいきたいと考えます。
吉田南子委員			【概要版について】 配布いただいた形で市民の皆様にも配布するのでしょうか。このままの形ではとても見づらいです。小冊子のような形へ変更したほうがよいと思います。	企画課	『後期基本計画』の概要版については、小冊子の形で、市広報5月号に差し込み、全戸配布する予定です。

<④『第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略』の一部改訂について【協議】>

事務局案のとおりで良い 20名 ・ 以下のとおり修正を希望する 2名
(未回答 3名)

提案委員	ページ	数値目標	意見	担当課	回答
鈴木ひとみ委員	37	【当初】 移住者数 【変更案】 移住相談経由の 移住者数	「移住相談経由」という言葉を付け加えた理由を教えてください。	雇用商工課	移住者数では、移住者の定義が漠然として把握が難しいことから、これまでも移住相談経由の移住者数を数値目標としてきましたが、数値目標の表記をわかりやすくするため、具体的な説明として「移住相談経由」との説明を付け加えました。

提案委員	ページ	重要業績評価指標(KPI)	意見	担当課	回答
鈴木ひとみ委員	46	認定農業者数	認定農業者、農業法人は増やさなくても良いのか。食のまちづくり、農業の持続を考えれば認定農業者や農業法人を増やす方向にもっていく必要があるのではないか。数字合わせで決めることではないと考える。	農水産課	現在、認定農業者になっている方たちの多くが、高齢化や後継者不足となっている現状を鑑み、新規就農や担い手の育成・確保により、現状並みの認定農業者数を維持することを指標としたいと考えています。
田中真由委員	60	【変更案】 教員のICT活用 指導力の状況	「研修の受講状況」への変更を希望します。 理由：第三者評価ならまだしも、定性的かつ自己評価ではKPIとして不適切ではないでしょうか。本KPIは客観的かつ定量的な指標であるほうが適切と感じます。文科省のサイトで当調査結果全容を読みましたが、当調査の中で前条件を満たす指標として「研修の受講状況」への変更を提案します。	教育総務課	研修形態は様々ですが、現在も各校においてICTに関する研修を実施しており、GIGAスクール構想に対応したタブレット端末整備等を踏まえ、令和3年度からは全教員を対象とした研修も予定しています。(研修受講率が100%となる見込みです。) 現在、設定している指標は教員の自己評価ではありますが、経年変化も把握することができますので、本施策に関するKPIは「ICTを活用した授業割合」のままとしたいと考えています。